

★今週の聖句

「学者たちはその星を見て喜びにあふれた」

マタイによる福音書 2:10

★ねらい

- ① これまでの旧約の預言を踏まえ、博士（外国人）が訪れた意味を受け止める。
- ② 博士が感じた喜びに思いをはせる。

★説教作成のヒント

- ・プレゼントはもらうことが多いが、もらったときの気持ちだけでなく、あげるときにどのような気持ちであげるのかを考えさせる。
- ・子どもたちはどんなときに「喜びにあふれるか？」を想像してお話しのまくらを作成する。

★豆知識

「ベツレヘム」→ヘブライ語で「パンの家」の意味。

「占星術の学者」→東の方とはペルシアかバビロニア地方と考えられている。

9世紀ごろから「ガスパル、メルキヨル、バルタッサル」と名前がつけられた。

「贈り物」→黄金はイエスの王権を、乳香はイエスの神性を、もつ薬はイエスの受難をそれぞれ象徴すると考えられている。

★説教

「メリークリスマス。」

私たちは2週間前、この言葉でクリスマスをお祝いしました。

劇や歌、ゲームやごちそう、おいしいケーキ…、楽しい嬉しいクリスマスでしたね。

そんな楽しいクリスマス、何が一番嬉しかったですか？（子どもたちに色々聞いてみる）

そう、クリスマスプレゼントも、クリスマスの楽しい思い出の一つですね。

みなさんはどんなクリスマスプレゼントをもらいましたか？（子どもたちに色々聞いてみる）

みなさん、色んなプレゼントをもらったんですね。

それでは、そのプレゼントを誰からもらいましたか？

私たちはプレゼントのことを友達と話すとき、「何をもらったか」ということは話しますが、「誰からもらったか」とか、「どうしてもらったか」ということはあまり話すことがありません。でも、クリスマスプレゼントをみなさんにあげた人がサンタクロースであるように、「プレゼント」には、必ず、もらった人とあげた人、なぜ、そのプレゼントをあげたのか？という理由があります。

今日みなさんと読んだ聖書には、イエス様が「黄金、乳香、もつやく」をもらったことが書かれてありました。

それでは、そのプレゼントは誰からもらったと書いてありましたか？（子ども達に色々聞いてみる）

そうです、このプレゼントは東の方から来た博士たちにももらったものでした。

博士たちのもってきた「黄金、乳香、もつやく」はどれもとっても高い、とっても大切に、なかなか手に入らないものでした。

では、なぜ博士たちはそんな高価なものを、イエス様にプレゼントしたのでしょうか？

それは、イエス様がお生まれになったからなんです。イエス様のご自身が、神様から私たちへのプレゼントそのものだったのです。博士たちはイエス様がお生まれるにことを告げる星を見つけて嬉しくてたまりませんでした。「神様から私たちにプレゼントがもらえるぞ！」「みんなが幸せになるためのプレゼントだぞ！」「急いで探しにでかけよう！」「そうだ、神様がくれるプレゼントに、『ありがとう』っていわなきゃ。『ありがとう』の気持ちを込めてプレゼントをもっていこう！」そういって、博士たちは「黄金と乳香、もつやく」を手にイエス様のもとへやってきたのです。

みんながもらったクリスマスプレゼントは、実は、神様が私たちにくれたイエス様というプレゼントに対するお礼からはじまったのです。サンタクロースはクリスマスプレゼントをみなさんの枕元に置くときに「神様、イエス様を私たちに与えてくれてありがとうございます」という気持ちを込めて、置いていきます。

みなさんもどうか、そのプレゼントを手にしたとき、サンタクロースだけではなく、イエス様を私たちにあたえてくださった神様にも「ありがとう」を言いましょう。

### ★分級への展開

#### さんびしよう

\*讚美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

21番

改訂版68番

#### やってみよ

1月になりましたが、教会ではクリスマスシーズン中。博士さんたちは自分の大切なものを贈り物として捧げます。私達一人一人も自分の大切なものをお捧げしてイエス様のお誕生を改めてお祝いしましょう。

自分の贈り物（字で書く、または絵）をカードに2枚書いて絵合わせゲームにしてみよう。

黄金・乳香・没薬を捧げた博士さんのお話も含めて、高価なものでなく、心のこもったもの、祈りなど、神さまに自分の人生を捧げた人のお話を紹介してみるのもよいでしょう。

子どもたちがそれ（カードに書いたプレゼント）を贈りたい理由も紹介するとよいでしょう。

#### はなそう

人々は救い主があらわれるのを、望み、待っていました。それまでにどういう歴史があったのでしょうか？聖書や、他の資料をもとに調べてみましょう。

学者たちの長い旅の目的は、なんだったのでしょうか？

学者たちが長い旅の後で赤ん坊のイエスさまに会った時、どんな気持ちだったと思いますか？

★今週の聖句

「あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」  
マルコによる福音書 1:11

★ねらい

- ① 「洗礼」を伝える。
- ② 「イエスの洗礼」を伝える。

★説教作成のヒント

1. 動作や絵を用いて、洗礼を説明するとよいでしょう。
2. すでに洗礼を受けたことのある人に感想を求めたり、小児洗礼式であればビデオを見せるなどもよいでしょう。

★豆知識

- 「洗礼」 → 当時、ユダヤ人の中には律法の規定による清めの式（レビ 11:24-40 など）のほか、エッセネ派とユダヤ教の入信の儀式としての洗礼があった。しかしここでヨハネが授ける洗礼は清めでも入信でもなく悔い改めの洗礼であり、来るべき主の洗礼を準備させるものであった。
- 「天」（10 節） → 原文では複数形。当時のユダヤでは、天は三層や七層などの複数の層で構成されていると考えられていた。
- 「心に適う」 → 直訳すれば「私はお前を喜んだ」となり、神の喜びがこめられている。

★説教

みなさん、「洗礼」という言葉を聞いたことがありますか？

「洗礼」とは、私たちが「神様とイエス様を信じます、イエス様に従って生きていきます」と神様とみんなの前で大きな声で言うことです。

今日の聖書には、イエス様が「洗礼」を受けられたと書かれてありました。

神様やイエス様を信じますと大きな声で言うことが「洗礼」なのに、では、どうして、イエス様が「洗礼」を受けられたのでしょうか？

それは、イエス様が私たちに「洗礼」の意味を教えるためでした。

イエス様は、バプテスマのヨハネに頭を押され、ヨルダン川に全身を沈められて洗礼を受けました。

（前にいる子どもの頭を押さえて「ブクブクブク…」と言いながら見本を見せる）

今から少しゲームをしてみましよう。

この中で誰が一番長く息を止めることができるでしょう、それでは、はじめっ！

プハアッー

みなさんも、海やプールにいつか泳いだことのある人なら、水の中で息ができないことは知っていますね。

人間は水の中では息ができません。そのままがまんしていると死んでしまいます。「洗礼」の時に全身を水に沈めてしまうのは、洗礼を受ける人が、今までの「自分のために生きる」そのような生き方を止めて「イエス様のために生きる」新しい生き方をするため、水の中で死んで、新しく生まれ変わるためです。

イエス様は、『洗礼』とは、今までの生き方を止め、水に全身を沈め、一度死に、新しい生き方に生まれ変わることでよ」と私たちに教えるためにバプテスマのヨハネから洗礼を受けられたのです。

そしてもうひとつ、「洗礼」について大切なことが聖書には書かれてあります。

イエス様が洗礼を受けられたとき、天から「あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」という声が聞こえました。これは神様の声です。「洗礼」を受けることは、神様とイエス様を信じて生きていくことは、神様の心に適う、神様の願っておられることなのです。

神様はイエス様のことを「あなたはわたしの愛する子」と、イエス様の洗礼を「わたしの心に適う」とおっしゃられます。これらの言葉はわたしたち一人一人にも向けて語られている言葉です。イエス様は私たちを「愛する子」と呼んでくださり、わたしたちが神様とイエス様を信じて生きることを、「洗礼」を受けることを願っておられるのです。

私たちを愛してくださる神様にありがとうと言ひ、神様とイエス様を信じて生きていきましょう。

#### ★分級への展開

##### さんびしよう

\*讚美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

10番

改訂版10番

##### やってみよ

「あなたは私の愛する子、わたしの心にかなう者である」神さまからこんな言葉をいただいたら嬉しいですね。そんな言葉をゲームの中でお友達に言っちゃおう！

さんびかを歌いながら「かごめかごめ」のスタイルをつくってまわる。後ろになった子が目隠ししている真ん中の子に「あなたは私の愛する子、私の心に適う者である」を言って、真ん中の子は誰が言ったのかを当てる。

やればやるほど、聖句の暗唱もバッチリ！

##### はなそう

イエスさまは、「わたしの愛する子」と話す神さまの声を聞きました。

そのとき、イエスさまはどんな気持ちだったのでしょうか？

また、イエスさまに洗礼を授けたヨハネは、どんな気持ちだったのでしょうか？

★今週の聖句

「時は満ち、神の国は近づいた」

マルコによる福音書 1:15

★ねらい

- ① イエス様の所信表明としてこの言葉を受け止める。

★説教作成のヒント

- ・年が明け、様々な場面で、様々な人が年頭の挨拶や訓示を述べているが、中身ではなく、その行為自体にはどのような意味があるのだろうか？そのことを考えるとき、イエス様の最初の言葉の意味もよりよく受け止めることができるのではないだろうか。

★豆知識

「神の国」 → 神の子の来臨によって始まった神の統治を意味する。

マタイは「天の国」と記すが、意味上大きな相違はない。

「近づいた」 → 「目と鼻の先」というニュアンス。本当に近づいた！という切迫した思いが込められている。

★説教

みなさん、おはようございます。

みなさんの中に書初めをした人はいますか？

日本では昔からお正月になると、新しい一年をどのように過ごすか、思いや目標などを紙に書き、忘れないように目立つところにはったそうです。

私たちは何かをはじめるとき、初日であったり、はじめの一步だったり、第一声であったり、そのはじまりをととても大切にします。

みなさんお父さんの会社でも、年が明けて初めて働くときには、会社の社長さんがお話をします。小学校も始業式では校長先生がお話をしますね。総理大臣が代わったときも、新しく総理大臣になった人は演説をします。

イエス様も同じように、神様のことを伝えるそのはじまりをととても大切にしました。そして、そのはじまりを「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい。」という言葉ではじめました。イエス様はどんな思いで、この言葉を語ったのでしょうか？

クリスマスに生まれたイエス様は、大人になるまでヨセフさんの仕事である大工の仕事を手伝っていました。だからといって神様のことを伝える仕事を忘れたわけではありません、イエス様

はその時が来るまで待っておられたのです。そして、バプテスマのヨハネから洗礼を受け、荒野で悪魔とたたかい、いよいよ、神様のことを伝えるその時が来たのです。

「時は満ち、神の国は近づいた。」この言葉は、イエス様が神様から「さあ、その時が来ました。私のことを、私の願いをみんなに伝えなさい」という命令を受けたこと意味します。そして、神様が言う「私のこと、私の願い」が「悔い改め」と「福音を信じる」ことでした。「悔い改め」とは、神様の言うことを聞いているか？神様の言うようにみんなと仲良く、みんなに親切にしているか？お祈りの中で神様と話し、神様に「ありがとう」と「ごめんなさい」を言うことです。「福音を信じる」とは、イエス様の言葉を良く聞いて、イエス様を信じて生きることです。

イエス様は神様のことをつたえるそのはじめまりの時、「みんな、神様に『ありがとう』と『ごめんなさい』をしなさい。『わたしがこれから言うことを良く聞きなさい』と語られたのです。「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい。」この言葉はイエス様の書初めです。私たちは、イエス様が大切にしているこの言葉を決して忘れないようにしましょう。

#### ★分級への展開

#### さんびしよう

\*讚美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

4 番

改訂版 7 番

#### やってみよ

- 人間をとる漁師ってどういう意味ですか？人間が魚みたいに海でとれるということでしょうか？
- 教会や教会学校の大人も子ども、みんな神さまの愛の中にやさしく包まれ（捕われ）ている存在です。その中で、みんなが手を取り合っている姿をあらわす工作をしましょう。
- 細長い紙を適当な長さにたたみます。折りたたんだ紙に人型を書きます（その時、手の部分は紙の端まで書きます）。書いた人型を手の部分は切り落とさないようにしながら切ります。折りたたんだ紙を開くと、手がつながっている人がたくさんあらわれます。（次週に続く）

#### はなそう

- イエスさまは、自分で宣教を始める時を考えたのではなく、神さまの時を待っていました。なぜ、そのことが大切だったのでしょうか？
- あなたや、あなたのまわりの人の生活の中で、また、人生の中で、人間の知恵や力や持っているものではどうしようもできないことが起こった経験はありますか？
- 神さまの時間と人間の時間には、どんな違いがあると思いますか？

★今週の聖句

「権威ある新しい教えだ」

マルコによる福音書 1:27

★ねらい

- ① 今週からいよいよ具体的なイエス様の宣教活動を読み進める。  
一つ一つの物語やイエス様の言動の中に見出される福音を分かち合いたい。
- ② 権威について、人ではなくイエス様の権威について考える。

★説教作成のヒント

- ・マルコによる福音書にはイエス様の奇跡物語が多く登場する。悪霊を追い出す物語もここ以外に3箇所登場する。
- ・ここで注目すべきは、律法学者の（うわべだけの）権威ではなく、悪霊をして「神の聖者」と言わしめる主イエスの権威であろう。その権威は実をもって受け止められ、そして実際に悪霊をも追い出す。

★豆知識

「カファルナウム」→ガリラヤ湖の北西、今日のテル・フーム遺跡の場所だとされている。

「律法学者」→もとは聖書の筆者をしていた人々で、その職から聖書に精通し、しだいに律法の教師、注釈者のような高い地位を得るようになった。彼らは自分達の党派をつくらず、ファリサイ派に属するものもあればサドカイ派に属するものもいた。

★説教

みなさん、「権威」って何だかわかりますか？

ここに国語辞典があります、これで「権威」をひいてみます。そこには1 他の者を服従させる威力。

「行政の—が失墜する」「親の—を示す」2 ある分野において、知識や技術がぬきんですぐれていると一般に認められていること。と書いてあります。

このように「権威」とは人を従わせる力だと言えます。お医者さんはその人の病気についてよく知っており、その病気を治すためにぴったりの薬を出したり、手術をしてくれたりします、患者さんは別にお医者さんの言うとおりにしなくてもいいのですが、病気を治したいという思いもあり、お医者さんのいうことを聞きます。このとき、患者さんにたいしてお医者さんは「権威」があると言います。学校では先生は生徒に対して権威があるといえます。そのほか、色々なところで権威のある人がいると思います。そして、その権威は、お医者さんや学校の先生が言う「言葉」や「行動」がとても立派で、信頼できるからあるのであり、だから、まわりの人は、お医者さんや学校の先生の言うことに従うのだと思います。

イエス様の時代、今と同じく、神さまの言葉が書かれた聖書には権威がありました。人々は神さまの言葉を信頼し、大切にしていました。律法学者の人たちは、聖書をつくったり（書き写し）、聖書に何が書いてあるか人々に教えたりしていました。そのうち、律法学者の人たちは、人々が聖書に権威を認めているのに、自分達に権威があるのだと勘違いするようになり、威張ったり、人々に命令し

たりするようになりました。でも人々は、律法学者に権威があるとは思っていませんでした。

そんな時、イエス様が会堂にあらわれて教え始めると、人々はびっくりしました。イエス様の言葉には、聖書に書かれた神さまの言葉と同じく、立派で、信頼できる、権威があったのです。もしかすると周りにいた人たちはちょっと怖くなったかもしれません、だって、今まで神さまの言葉を神さまのようにしゃべる人はいなかったからです。そして、一人の人が叫びました「ナザレのイエス、かまわないでくれ。我々を滅ぼしに来たのか。正体は分かっている。神の聖者だ。」。この人は心が「悪い心」に支配されていた人でした。悪い心に支配されると人は悪いことしかしなくなります。イエス様の言葉は、逆に、神さまの正しいことを人にさせる力を持っていたので、この人はこのように叫んだのでしょうか。するとイエス様は、その人に、いやその人の中の悪い心に向かって「黙れ。この人から出て行け」と言って、悪い心をこの人から追い出しました。

さて、みなさんはどうでしょう。心の中に悪い心はありますか？もしあったらもちろん、なくてもしっかりイエス様の権威ある教えを聞きましょう。

### ★分級への展開

さんびしよう

\*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

35番

改訂版 124番

やってみよ

先週作った人型に、教会の大人や子ども、みんなの名前を書いて、顔を書いたり色を塗ったりしましょう。そして、みんながつながっていることを体感しましょう。

一人づつ作っても、みんなで一つの大きなものを作ってもおもしろいでしょう。是非教会に飾りましょう。

はなそう

汚れた霊は、なぜイエスさまを恐れたのだと思いますか？

イエスさまに癒された人々は、その時、どんな気持ちだったのでしょうか？

まわりの人々は、病を癒されるイエスさまをどう思っていたのでしょうか？

そのころ、一般の人々にとって、イエスさまはどういう存在だったと思いますか？「もし、自分がそこにいたら、どう思ったか？」というふうに想像してみましょう。